

<p>しかはま自然観察会</p> <p>のらえもん</p> <p>『人も 自然も みんなともだち !』No.7</p>	<p>代表責任者 古高 利男</p> <p>☎270-1132 我孫子市湖北台 2-14-7</p> <p>☎090-7275-9890 2015, 8, 22~23</p>
---	---

第7回活動「尾瀬沼ハイキング」

- ・ ・ ・ 富士山と尾瀬沼は、とんなにちがうのだろうか？
- ・ ・ ・ 尾瀬は、どこにあるの？
- ・ ・ ・ 尾瀬と長蔵小屋のかかわりは？
- ・ ・ ・ 尾瀬に咲く花には、どんなものが？
- ・

- 1, 日 時：2015年8月22（土）～23（日）
- 2, 天 気：8月22（土） くもり
23（日） 小雨 竜宮十字路を過ぎた辺りから中雨
- 3, 場 所：尾瀬長蔵小屋～尾瀬ガ原
- 4, 参加者：5家族 内訳 大人 6
中学生 2
小学生 3
合 計 11 スタッフ 2 総計 13

*中学生が2名も参加してくれました。
うれしい限りです。

5, 活動の様子

昨年と同じ頃、富士山に登りました！「もう一度、登りたい」という声がありました。が、24名が登った富士山の余韻を、もう少し味わわせて・・・、という思いがありましたので、今年は「尾瀬」に決めました。

尾瀬は、何度でも訪れてみたいところのようです。今回の参加者の中にも、「もう、十数年前に登ったきりなのですが・・・」「若かりし頃来たので、息子にもぜひみせたくて・・・」という気持ちを伝えてくれました。

尾瀬には、人を魅了する自然がたくさんあるからなのではないでしょうか？

今回は、沼山峠から入り、長蔵小屋に1泊し、尾瀬ヶ原を歩き、鳩待峠までのコースを選びました。親子でゆっくりと尾瀬の風景や花を見ながら歩くこと、長蔵小屋はどんな様子なのか体験すること、大人も子どももとにかく歩き通すこと、安全であること、が大きな目標でした。

結果は、「雨の中、みんながんばって歩きました！」と、拍手を送りたいと思います。

○ 1日目：8月22（土）の様子

天気：曇り（まぶし過ぎず、最高のハイキング日でした）

631・・・北千住東武駅に集合。山登りのスタイルで、みんなかつこいい！
快速会津高原尾瀬口駅行きの先頭車両に乗車。春日さんが浅草まで行き、8人分の座席を確保してくれていたおかげで、全員座れた。いつもながら、このような心遣いには助けられます！
早速、朝食を開く。これから3時間の車中の旅。

925・・・尾瀬口駅に、やっと到着！標高723.5m。
高原の緑が、気持ちいい！

トイレを済ませ、バスに乗り込む。

950・・・約2時間走り続けて、標高1000mを登る。

途中、檜枝岐村を通る。ここには有名な「檜枝岐歌舞伎」がある。「その昔、江戸で檜舞台の歌舞伎を観劇した先祖が、見よう見まねで村に伝えたのがはじまりとされる檜枝岐歌舞伎。以来、270年もの間、親から子へ、子から孫へと継承され、昔から変わらぬ檜枝岐独特の歌舞伎を受け継いでいる」という。毎年5月12日、8月18日、9月第一土曜日に上演される。演目は11種と、年ごとに出し物を替えている。

1145・・・着きました、沼山峠に！

食事をし、荷物の点検。軽く体操して、まずは記念の1枚！
写真は、平松健人くん。2日間のアルバムを作ってくれます。

1230・・・しゅっぱ〜つ！

登り始めは、緊張と期待と不安のきもちが入り交じる。30分も歩けば、下界を忘れ山の懐に飛び込んだ自分になるのだが・・・。

1300・・・標高1700mの展望台着。木々の間から尾瀬沼が見える。
もう、ここからは下りだけだ。

モウセンゴケを発見！そ〜と手を伸ばして腺毛に触れてみると、納豆のような糸を引く。これで虫を捕まえるというのだから、不思議というよりビックリ！いろいろな花が現れる。矢野陸くんが、スマートフォンで花の名前を調べてくれる。さすが、若者！！赤い実をつけたゴゼンタチバナ、やはり赤い実をつけたハリブキ。葉の表裏に、トゲのような硬く大きな針を何十本も出している。誰に対する針なんだろう？虫なら、簡単に避けられる。鳥？オゼアザミにエゾリンドウも現れてきた。

大江湿原に入ると急に視界がひらけ、気持ちが軽くなったようだ。たくさんのお花が迎えてくれた。タンポポに似たオゼミズギク・ワレモコウ・イワショウブ・サワギキョウ・・・。

そして、ヤナギランは平野家3代のお墓のある小高い丘の上に、ピンクの花を咲かせていた。尾瀬を平野家が守り通してきたからこそ、車道のない、木道の上からのんびりと花を観察できることのありがたみを感じるのだった。

橋の上から岩魚を探しながら、ビジターセンター前に着いたの

は、3時だった。

- 1500・・・尾瀬ビジターセンター前着く。
歩行2時間30分。100円持って、まずはトイレへ。
チェックインまでの1時間を、ビジターセンターの見学・沼周辺
の散策など、思い思いに過ごしてもらおう。
キャンプ場の確認を忘れてしまった！
- 1600・・・長蔵小屋にチェックイン。2階の18番。一番大きい部屋だ
という。二段ベットが4つついた相部屋だ。ここで13人が一夜
を過ごす。畳敷きには、男が5人並ぶことになった。靴や濡れ
たものなどは、出窓のスペースに置く。風呂は、体にお湯2杯
分だけかけて、あたたまるだけ。石けん・シャンプーは厳禁。
それでも、汗をかいたあとの一風呂はさっぱりする！なんでも、
トイレや生活排水は、パイプラインを通して尾瀬の外へ運んで、
尾瀬沼や尾瀬湿原の水質を保っているという。
尾瀬の自然やその保護のための活動を、知れば知るほどに、こ
の尾瀬の自然が子々孫々まで伝わって欲しいと願わずにはおれ
ない気持ちになる。
- 1730・・・夕食。山小屋の夕食って、どんな感じかな？あこがれの岩魚の
甘露煮もついて、美味しい夕食でした！
- 1900・・・スライドショー。
ビジターセンターで、尾瀬の様子を解説してくれました。今日
歩いてきた尾瀬の、ふり返りになりました。
- 2100・・・おやすみなさい！

○ 2日目：8月23（日）

天気：小雨（予報では、曇りのち晴れだったのに・・・）

500・・・早朝の散歩は、中止。オコジョに会いに行くつもりだったのに・・・。

600・・・朝食。

袋に入った納豆ができました。清水大智くんは、「オレ、なっとう、
好き！」とあって、もりもりご飯を食べていました。いっぱい
歩けそう！

650・・・雨具を着て、さあー、出発！雨模様の中にも、たくさんのすば
らしい出会いがありますように！

木道がたくさん整備されていて、雨でも歩きやすい。が、滑る
人が何人も・・・。

雨で煙る尾瀬沼は、まさに神秘の中にありました。

800・・・沼尻休憩所。

昔、ここから長蔵小屋の方へ遊覧船が運航されていました。長
蔵さんは、尾瀬の自然を守ることに反していると考え、その船
を焼き払いました。その硬い決意が子や孫に引き継がれ、また
たくさんの賛同者のおかげで、今の尾瀬があるということです。
これからの白砂峠超えに、グレープフルーツのサービスが出ま

した！のらえもんが担いできてくれました。「あま！」「うま！」
水気の多い果物は、山歩きでは最高のおやつですね！でも、重
いので・・・。

820・・・エネルギーを入れて、出発！

小雨の中を雨具を着て、木道を歩く。静けさが濃縮されていく
ようだ。

やがて山道になる。石ころの上を歩く。こんな所にもミズバシ
ョウが葉を大きく広げている。種を、クマが運んできたのだろ
うか？木の標識に「白砂峠」とある。ここからは、下りだ。
坂道の木道は滑りやすい。「キャー！」「あっ！」と、叫び声が
聞こえてくる。「ふ、ふん。滑ったな。」と、「おっとっと・・・」
と、自分が滑ってしまった。沢で一息し、「見晴新道」は崖崩れ
のため登山中止でロープを張ったところを横目で見て、小屋の
たくさん建っている開けた場所に着く。

1015・・・1500分の見晴だ。

トイレとキャンプ場がある。無料休憩場もある。

おにぎりを食べたり、おやつを食べたりして、20分後に出発。
いよいよここからが尾瀬ヶ原だ。尾瀬ヶ原をよく見ると、中央
に向かって少しだけ高くなっている。ミズゴケがたくさん堆積
したためのようだ。小屋のある見晴は、泥炭化がすすんで低い
所になる。

1110・・・竜宮十字路

橋の上から岩魚を探し、拋水林に囲まれた竜宮小屋に出る。小
休止ご、すぐに出発。雨が強くなる。池糖がたくさん現れる。
その池糖にはスイレンのような白いヒツジグサが咲いている。
未の刻（午後2時）に咲くからこの名がついたらしい。が、の
らえもんたちがみたのは11時過ぎだった。

雨足が弱まることはなく、花の名前を覚えながら黙々と歩き続
けた。子どもたちは、弱音を吐くことなく、しっかり歩いた。

1200・・・やっと、目的の山の鼻に着く！雨はさらに強くなってきた。

雨宿りは、わずかに作業小屋の一角だけだった。そこにシート
を敷いておにぎりをほおぼる。人もたいさんいる。「晴れていれ
ば・・・」と、ちょっと愚痴をこぼしたくなった。雨になると、
行動範囲がグ〜ンと狭くなるからだ。

1245・・・最後の登り。鳩待峠を目指し、上下雨具をつけて、出発。

川上川の橋を渡る。ここで、ず〜と昔、のらえもんは試し釣
りをしたことがある。中型の岩魚を2匹釣り、朝食にしたことが
ある。

全員疲れ気味。大人は足腰の痛みをがまんしている。そんな中、
しりとりを始めた清水家族。聞きながら、励まされる。木道か
ら、石段になってきた。「これは、近い！」と思ったのに、その
長いこと・・・。

1430・・・やっとう嶽に着いた。

健人くんの合図で、全員が一行になって、「最後の一步」をカメラに収めた。終わった！

1520・・・車の人となる。

約7時間を、小学2年生から68才までの13人が歩き通した！富士山に続き、また一つ、大きな足跡を残した。

「富士山より、つらかったよ！」

「平地ばかりで、達成感がなかったみたい・・・」

「7時間も、歩けたことに自身を持った！」と、

様々な思い出を作ってくれた、夏休み最後の「尾瀬1泊2日」親子ハイキングでした。

6、親と子の、いきいき感想

○ トイレからかえるとき、くわがたをみつけてうれしかったです。

おぜをあるいて、たのしかったです。

雨の中 たくさんあるいて たのしかった

北鹿浜小2年

* 中学校以来の尾瀬でした。が、先生の話聞きながらのウォーキングはとても楽しく勉強になりました。あいにくの天気でしたが、みんなで最後まで楽しく歩いて、とても良かったです。 母

○ こんかいののらえもんのかつどうは、くもりで、けしきがあまりきれいとはいえなかったのですねでした。けど、いろんな花の名前を知れたので、よかったです。

おぜぬまは しぜんがいっぱい きもちいな

北鹿浜小4年

* 普段歩いていないため、体の色んな所が痛かったですが、先生の説明を聞きながら歩くことができました。尾瀬の自然に触れて、とてもたのしく過ごせました。ありがとうございました。 パパの感想

○ 単純に、尾瀬の景色に感動しました。また、いきたい。

だけど、次は2泊3日で・・・。

木道を ひたすら歩く 雨の中 鹿浜中1年

* 風で沼の水面がさざなみをつくっていたのが、尾瀬らしい景色だなと感動しました。徹底した環境管理に触れ、日頃の生活を改めようと考えました。

考えた 自然を守る ということを 母

○ 尾瀬はとても疲れましたが、良い景色を見られて良かったです。

尾瀬にはね 長い木道 疲れるな

駒中1年

* 昔来たことがあり、「是非子どもにも！」と思い参加しました。

すばらしい風景を見ることができ、足が棒のようになっても、良い経験が出来たことに感謝いたします。

緑濃き 尾瀬沼見れば 力湧く 母

○ 今日は、のらえもんの写真係りをつとめ、おぜをちがう目せんでみると、ちがうように見えてくるんだな～と思いました。

歩くだけでなく、花などもかんさつして、そういうたのしみもしりました。

おぜが原 生き物と花 たわむれる

鹿浜第一小5年

* 何十年ぶりの尾瀬は、豊かな自然が美しく、心が洗われました。

尾瀬ヶ原 鳥りのさえずり 水の音

母

こんな歩いた日!!

歩いたコースと時間

1日目: 2時間30分

2日目: 7時間

